



嚥下障害とくすりの話

病気や加齢などで、水や食べ物が飲み込みにくくなる状態を「嚥下障害」といいます。その原因は様々で、脳卒中によるものや加齢によるものが多くを占めると言われていますが、薬の副作用が原因で起こる「薬剤性嚥下障害」も問題となる場合があります。

今回は、薬剤性嚥下障害の原因となり得る代表的な薬剤について、いくつか紹介します。

セレネース、チアプリド、リスペリドン など

抗精神病薬

口腔の乾燥、
精神活動の低下、
錐体外路症状※

メトクロプラミド、ドンペリドン など

制吐剤、消化性潰瘍薬

錐体外路症状※

ネオマレルミン、アタラックスP など

抗ヒスタミン薬

口腔の乾燥

ドパコール、マドパー など

抗パーキンソン薬

口唇ジスキネジア※※、
口腔の乾燥

エペリゾン、テルネリン など

筋弛緩薬

筋の過度の弛緩、
精神活動の低下



※錐体外路症状；振戦(ふるえ)、手足が動かしづらい、こわばるなどの症状
※※口唇ジスキネジア；口やその周囲で生じる不随意運動(勝手に動いてしまう)

**嚥下障害のある患者様は、これらの薬剤を服用されていませんか？
内服中の薬剤にも目を向けて、誤嚥性肺炎の発症を防ぎましょう！**

NSTへのお問い合わせは栄養管理部またはリンクナースへ
(栄養管理部PHS：913・695)